

平成 30 年度  
事業報告書

自：平成 30 年 4 月 1 日

至：平成 31 年 3 月 31 日

社会福祉法人若狭町社会福祉協議会

## 法人運営事業

### 組織体制の強化

#### ・理事会の開催

- 6月13日 第1号議案 平成29年度事業報告および決算について（監査報告）
- 第2号議案 諸規程の変更について
- 第3号議案 定時評議員会の招集について
- 第4号議案 評議員選任解任委員の選任について
- 9月19日 第1号議案 赤い羽根共同募金について
- 12月19日 第1号議案 上期中間監査報告と今後の事業運営について
- 第2号議案 平成30年度第1次補正予算（案）について
- 第3号議案 評議員会の招集について
- 3月20日 第1号議案 平成30年度第2次補正予算（案）について
- 第2号議案 平成31年度事業計画（案）並びに予算（案）について
- 第3号議案 苦情解決第三者委員の選任について
- 第4号議案 就業規則の変更について
- 第5号議案 評議員会の招集について

#### ・評議員会の開催

- 6月27日 第1号議案 平成29年度事業報告および決算について（監査報告）
- 12月26日 第1号議案 上期中間監査報告と今後の事業運営について
- 第2号議案 平成30年度第1次補正予算（案）について
- 3月27日 第1号議案 平成30年度第2次補正予算（案）について
- 第2号議案 平成31年度事業計画（案）並びに予算（案）について

#### ・監事会の開催

- 5月17日 平成29年度決算監査
- 11月20日 平成30年度上半期決算監査

#### ・理事評議員合同研修会の開催

- 8月3日 地域共生社会の実現と社協について

#### ・三役会の開催

計14回開催し、決算の作成、理事会、評議員会の招集および議案の提出、表彰、運営規程の変更、人事に関することについて協議しました。

#### ・法人本部会議の開催

社協全体の管理体制の変更、諸規程の変更に関することについて協議しました。

- ・ 所長会の開催  
計 12 回開催し、三役会、理事会、評議員会提出案件、事業所間および社協全体における課題と対策に関することについて協議しました。
- ・ 事業所会議（安全衛生委員会）の開催  
計 12 回開催し、事業所内における課題と対策に関することについて協議しました。
- ・ 福祉サービス苦情受付窓口の設置  
福祉サービス利用者からの苦情を受け付ける苦情受付窓口を設置しました。また、苦情解決にあたり、中立・公正な立場から助言を行う第三者委員を設置しました。
  - 苦情受付件数 9 件
  - 苦情受付後の対応状況 解決 9 件

#### 人材確保

- ・ 新卒職員の定期採用のため、職員募集を行いました但採用には至っていません。また、人材確保を目的とした研修に参加し、採用力向上に向けた情報収集を行いました。
- ・ 平成 31 年度からインターンシップを受け入れるため、管理体制や指導方法について検討しました。
- ・ 法人のイメージアップのため、福井県社協主催の接遇研修に参加しました。
- ・ 人事評価制度の有効活用を目的として評価者向け研修を開催し、人事評価制度の意義や活用方法について指導しました。
- ・ メンタルヘルスケアの充実のため、福井県社協主催の研修に参加しました。

#### 安定した財源確保

- ・ 地域福祉センター泉と生きいきふれあい館の新たな利活用について、プロジェクト委員会を立ち上げ、検討を行っています。平成 30 年度は地域住民へのアンケート調査をはじめ外部アドバイザーとの意見交換や先進地視察研修を実施するなど、新規事業の内容について協議しました。
- ・ 中長期的な施設の維持管理を目的とした設備等整備積立金への積立を行いました。
- ・ 社協会費の有効な活用方法について、地域福祉向上のため、地域住民へ還元出来るよう、地域福祉事業の職員を中心に検討しました。各地区の支え合い検討会等に職員が出席して地域課題を集約し、今後は、新たな事業実施に向け、具現化し形付けしていきます。
- ・ 社協会費、積立金実績（H31.3.31 現在）
 

会費	一般会費	3,633 世帯加入	3,598,132 円
	特別会費	210 件加入	1,280,000 円

積立金	福祉基金積立	12 件	1,910,087 円
	設備整備積立	18 件	2,690,000 円
	修繕積立	2 件	115,000 円

## 地域福祉事業

### < 小地域福祉活動推進事業 >

住民が主体となった福祉活動の支援

- ・ 地域づくり協議会に定期的に参加し、地域住民との意見交換を行う中で生活課題の把握や解決につながるような支援の情報提供等を行いました。
- ・ 今年度は行政が主体となった『研修会・意見交換会』が開催されており、職員が積極的に会議に参加することで、住民とともに集落の課題解決方法や将来を見据えた福祉活動を検討することが出来ました。
- ・ 小地域福祉活動推進モデル集落を 7 集落指定し、集落の将来を見据えこれからの福祉活動について集落内で検討する機会を作ることができました。また、モデル集落を中心とした小地域福祉活動に取り組む集落を対象に小地域福祉活動連絡会を開催し課題の共有や情報交換を行うことで、自集落の活動の見直しや発展した活動へとつなげることができました。
- ・ 地域づくり協議会や福祉関係者等と連携しながら地域支援の在り方を探る『地域支え合い仕組みづくり検討会』に立上げから検討委員として職員が参画し、地域支援の在り方について協議することが出来ました。検討会を通じて集落で解決できない課題を地区の課題として取り組みが出来るように情報提供を行いました。

#### (1) みそみ地区 地域づくり協議会福祉部会 8回

福祉関係者研修会・意見交換会

地域支え合い仕組みづくり検討会 5回

鳥羽地区 支え合い連絡会全体会

瓜生地区 福祉関係者研修会・意見交換会

熊川地区 福祉関係者研修会・意見交換会

三宅地区 福祉関係者研修会・意見交換会

地域支え合い仕組みづくり検討会 7回

#### (2) 小地域福祉活動推進モデル集落の設置（共同募金審査委員会にて決定）

平成 28 年度～平成 30 年度：田井野区、北前川区、三方区

平成 29 年度～平成 31 年度：末野区

平成 30 年度～平成 32 年度：気山区市、三生野区、下夕中区

#### (3) 小地域福祉活動連絡会の開催

開催日：6月11日 会場：パレア若狭研修室B 参加者：8集落10名

### < 福祉委員活動推進事業 >

福祉委員が地域福祉活動において中核的な役割を担う人材となるための支援

- ・福祉委員が集う地域づくり協議会や支え合い検討会等において福祉委員の役割について説明をしました。区長代表者会や区長会に参加し周知を行いました。

#### < ボランティアセンター運営事業 >

住民や企業に向けたボランティアセンターおよび災害ボランティアセンターの周知とPR

- ・若狭テクノバレーの企業に対して、ボランティア活動を通して地域とつながりを持つことで住民同士の助け合いの意識を高め、地域の課題解決につなげる目的でサポーター企業として関係を構築したいと考えています。企業を訪問しボランティアセンターの周知や気軽にできるような活動を提案しました。
- ・小学校から福祉や障がいについての講義、車いす体験、高齢者疑似体験などの出前講座の依頼が増加しています。点字サークルのボランティアが講師を務め、点字学習も行っています。
- ・災害ボランティアセンター連絡会協議会員を対象として、平成30年7月豪雨災害時にメールを活用し災害ボランティア活動情報を提供しました。
- ・災害ボランティア研修(嶺南ブロック)へ出席し、災害ボランティアセンターの設置運営、地震や水害など災害に応じて受け入れるボランティア人数や期間、効率良く活動して頂く為の活動戦略を学びました。
- ・災害情報や対策等を迅速により多くの方へ周知できるようにSNS等を活用し発信しました。

#### (1) ボランティア登録、更新、斡旋業務の充実

個人ボランティア登録者数	55名
ボランティア団体登録数	2団体
ボランティア活動保険加入者数	984名

#### (2) 福祉教育の推進

福祉教育への対応、支援	2件(点字版貸出し)
	1件(アイマスク貸出し)

#### (3) ボランティア出前講座の開催

6月20日	高齢者疑似体験、車いす体験	野木小学校
7月2日	車いす体験	梅の里小学校
7月4日	高齢者疑似体験	梅の里小学校
9月13日	講演(障がいについて)	瓜生小学校
9月19日	点字学習(外部講師依頼)	梅の里小学校
9月27日	講義(福祉について)	鳥羽小学校
10月3日	障がいについて協議	鳥羽小学校

10月5日	点字学習	三方小学校
10月9日	車いす体験	瓜生小学校
10月12日	点字学習	鳥羽小学校
10月16日	福祉について講義・高齢者疑似体験	三方小学校
10月17日	スロープづくり	梅の里小学校
10月24日	車いす体験	鳥羽小学校
10月29日	車いす体験校外学習	鳥羽小学校
11月15日	車いす体験	三宅小学校
11月19日	スロープ・点字ブロック確認	梅の里小学校
11月20日	福祉について講義・高齢者疑似体験	熊川小学校
11月22日	デイサービスセンターパレア若狭交流	三宅小学校
〃	ほたる熊川宿と交流	熊川小学校
12月3日	アイマスク体験	瓜生小学校
12月4日	車いす体験発表会	鳥羽小学校
12月7日	車いす体験	熊川小学校
12月10日	福祉について講義・高齢者疑似体験	瓜生小学校
12月12日	障がいについて講義・アイマスク体験	三方小学校
2月1日	点字学習	瓜生小学校
2月7日	車いすバスケットボール体験	瓜生小学校

#### (4) 家屋補修支援事業

三方地域	8月19日	希望者9件	実施3件	ボランティア10名
上中地域	12月2日	希望者18件	実施15件	ボランティア20名
上中地域雪囲い撤去	3月28日	実施9件		

#### (5) ボランティア活動への支援

図書館ボランティア『虹の会』 おげんきですか発行支援 6回

#### (6) 地域で支える送迎サービス

利用登録者 170名      貸出件数 221件      利用延べ人数 1219名

#### <送迎支援サービス事業>

住民のニーズを踏まえた送迎支援サービスの検討

- ・各地区研修会・意見交換会で大きな課題として挙がっている病院送迎や買い物送迎について協議しました。野木地区でボランティアによる送迎団体の立ち上げに向けて検討を始めており、今後は課題解決を含め活動出来るよう支援していきます。
- ・運転手の資質向上を目的とし独立行政法人自動車事故対策機構が実施する「安全な運転確保のための適性診断」を行い、運転の癖を見直すとともに安全運転や思いやりを持った運転ができてきているかの再確認が出来ました。

#### (1) 外出支援サービス事業(上中地域 207名、三方地域 298名)

(2) 個人用福祉車両貸出し事業 (23 件)

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
外出支援	740	82	68	63	49	59	59	380
		55	45	50	38	48	42	278
個人用貸出	36	1	2	2	4	4	4	17
		1	2	2	3	6	2	16

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
外出支援	56	69	58	51	49	63	346	726
	55	46	40	31	26	29	227	505
個人用貸出	4	5	2	3	1	1	16	33
	1	2	1	0	1	2	7	23

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 福祉総合相談事業 >

相談日に関わらない住民からの相談への対応

- ・ 関係機関と出張相談所開設も含めた検討をしましたが、現状通り開催した方が相談ごとの開催日程も周知されており、住民も利用しやすいとの結論となり、相談日以外の日々の相談については関係機関と連携し、その都度対応しました。
- ・ 必要に応じて居宅介護支援事業所や相談支援センターとの連携をとり、情報提供や相談を行っています。

(1) 心配ごと相談

毎月第2火曜日 12回開催 相談件数 10件 (三方地域 6件、上中地域 4件)

(2) 無料法律相談

毎月第2火曜日 12回開催 相談件数 43件 (三方地域 22件、上中地域 21件)

< 生活困難者支援事業 >

サービス利用者に合わせた適切な支援

- ・ 地域住民や民生児童委員、関係機関と密に連携を取りながら、利用者の自立に向けて適切なサービス提供を行っています。
- ・ 居宅介護支援事業所や相談支援センターと気がかりな方の情報交換や相談を行っています。

(1) 日常生活自立支援事業



(新規契約 3 件、契約終了 0 件、現在利用中 18 件)

5 月 18 日 平成 30 年度高齢者権利擁護対応専門職チーム派遣事業  
説明会  
7 月 17 日 平成 30 年度社協による地域福祉推進研究会  
8 月 2 日 平成 30 年度社協による地域福祉推進研究会  
11 月 14 日 平成 30 年度社協による地域福祉推進研究会 学習会  
11 月 29 日 平成 30 年度社協による地域福祉推進研究会  
1 月 31 日 平成 30 年度日本司法支援センター福井地方協議会

(2) 金銭等管理事業

(新規契約 2 件、契約終了 0 件、現在利用中 3 件)

(3) ふくしの資金貸付事業

生活福祉資金貸付

(新規契約 0 件、契約終了 0 件、現在利用中 14 件)

5 月 25 日 平成 30 年度二州地域生活福祉・就労支援協議会  
6 月 29 日 小浜警察署犯罪被害者等支援地域ネットワーク総会  
8 月 7 日 福井県居住支援協議会  
11 月 21 日 平成 30 年度生活福祉資金貸付事業関係職員研修会  
たすけあい金庫貸付 0 件  
緊急食糧支援事業 2 件

< 広報活動 >

住民に分かりやすい広報活動

- ・誰もが分かりやすく読みやすい内容を目指して掲載をしています。
- ・ホームページや SNS を使った情報発信についても随時行っています。

(1) 社協だよりの発行 4、6、8、10、12、2 月発行

< 介護予防・生活支援 >

福祉用具が必要な方への貸出し

- ・貸出し用具の把握と適正な貸出しができていないか福祉課とも連携を図り、確認をしています。

(1) 介護用品無料貸出事業

ベッド	貸出し中	12 台	(残	8 台)
車いす	貸出し中	6 台	(残	11 台)
その他	貸出し中	0 台	(残	3 台)

< 共同募金助成金事業 >

集落での活動、障がい者や生活困難者への支援などさまざまな地域福祉事業への共同募金助成金の活用

#### 【一般募金助成金事業】

- ・ 小地域福祉活動推進モデル集落（7集落への助成）
- ・ きらりアート展の開催  
10月18日（木）～29日（月）応募191点
- ・ 赤い羽根共同募金チャリティ『アートでハート展』の開催  
11月10日（土）～26日（月）出展作家33名
- ・ 要援護者支援調査  
若狭町内の要援護者についての調査や支援を行う費用として活用しました。
- ・ 緊急食糧支援事業  
生活困窮者へ食糧を配分する一部に活用しました。

#### 【歳末たすけあい募金助成金事業】

- ・ 障がい児クリスマス会の開催  
障がいを持った子ども達とその家族を対象に実施しました。  
開催日：12/9(日) 参加者：24名
- ・ 歳末たすけあい配食事業  
生活保護受給者へ社協内で調理したおせち料理をお届けしました。  
実施日：12/31(月) 対象者：13名
- ・ 障がい者ニコニコスマイル訪問事業  
町内在住で身障手帳1級を所持しておられる独居の方を対象としてタオルセットを贈り訪問し、安否確認や孤独感の緩和、困り事等を聞き取りました。  
訪問日：3/18(月)～20(水) 対象者：6名
- ・ 介護用品無料貸出事業  
在宅の高齢者、障がい者、病気療養者等へ無料で貸出しするベッドと車いすの購入費の一部に活用しました。
- ・ 広報啓発活動事業  
社協だよりやパンフレット等の広報活動の一部に活用しました。

## 通所介護事業

安心した在宅生活の継続を目的とした他職種との連携および柔軟なサービス提供の実施

- ・ 事業所ごとに緩和型利用者を受け入れしており、パレアでは入浴、いずみでは機能訓練、五湖の郷では交流を特色にして在宅生活と機能維持の継続をサポートしてきました。退院後の在宅生活が安心して過ごせるよう、多職種と連携を取りながら重度の方でも受け入れをしてきました。
- ・ 今年度、初めて3事業所合同で家族介護教室を開催しました。認知症をテーマにした講演会で講師を招いて実施しました。利用者家族だけでなく、町内一般の方にも幅広く参加していただき、認知症に対する理解と地域ぐるみで認知症の方を支えることを習得できました。
- ・ 職員一人ひとりがコミュニティーワーカーとして地域住民との関わりを持ちながら活動ができました。

### < デイサービスセンターパレア若狭 >

チームケアを中心とした認知症ケアへの対応

- ・ 認知症実践者研修受講修了者2名が中心となって認知症利用者に対するケアを他のスタッフとともに進めています。様々な認知症の症状がありそれぞれに個別ケアを実践しました。

地域資源を取り入れた交流

- ・ 近隣の小学生のデイサービスでの福祉学習がきっかけで、継続した交流ができました。デイサービスでのクリスマス会の参加や心温まる手紙の交換、写真付きのメッセージカードをいただき、地域の子供たちとの世代間交流の場となりました。

営業日の追加

- ・ 土曜日の営業を開始し、利用者や家族のニーズに応えることが出来ましたが、まだ少人数の登録となっていますので、今後も継続して、ケアマネジャーへの空き情報の提供、体験利用の受入で実績向上に努めます。

利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
通所介護	4,345	295	339	337	329	327	330	1,957
		311	340	338	329	346	290	1,954

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
通所介護	371	336	300	287	283	320	1,897	3,854
	305	294	285	253	247	252	1,636	3,590

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

利用実績（定員：7名、営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
緩和型A型	1,308	73	69	69	77	96	95	479
		109	119	98	124	123	103	676

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
緩和型A型	91	91	83	98	97	102	562	1,041
	119	120	108	103	96	108	654	1,330

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

#### < デイサービスセンターいずみ >

##### 機能訓練の充実

- ・ 介護予防や機能維持を目的とした楽しく取り組めるリハビリ体操を考案し、実践していく中でコグニサイズ（頭と体を両方使う運動）にも挑戦し、身体の機能維持だけでなく認知機能の維持においても支援することが出来ました。

##### 地域交流の充実

- ・ 新しい読み聞かせボランティア団体との交流の機会を得たことにより、地域の方々との交流を深める事が出来ました。

##### 認知症の理解を深めた柔軟な対応の提供

- ・ 認知症実践者研修で得た知識を他職員に啓蒙し、認知症ケアの専門性を追求する中で個々にあった支援内容を検討することが出来ました。

利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
通所介護	3,287	293	294	295	289	286	294	1,751
		228	249	233	270	308	297	1,585

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
通所介護	299	282	294	239	225	226	1,565	3,316
	302	273	261	231	277	286	1,630	3,215

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

利用実績（定員：7名、営業日：火曜日・金曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
緩和型A型	640	43	44	46	45	48	54	280
		49	43	54	41	41	34	262

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
緩和型A型	48	48	49	47	43	51	286	566
	49	38	33	34	26	28	208	470

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

#### < デイサービスセンター五湖の郷 >

地域に根差した運営を目的としたボランティアの積極的な受入れ

- ・年間を通して地域の運転ボランティア3名と読み聞かせボランティア4名の方のご協力を頂くことが出来ました
- ・読み聞かせボランティアの受入れをする事で、日中のボランティア活動の幅を広げることが出来ました。

重度の方の受入れ強化

- ・重度の方の受入れを積極的に行い、在宅生活の継続をサポートすることが出来ました
- ・年間を通して一定以上の受入れが出来たため、中重度加算・認知症加算を安定して受けることが出来ました。

利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
通所介護	3,540	255	282	277	291	299	287	1,691
		304	312	302	296	279	292	1,785

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
通所介護	266	274	265	238	253	302	1,598	3,289
	337	339	327	295	295	363	1,956	3,741

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

利用実績（定員：5名、営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
緩和型A型	48	8	9	0	0	0	0	17
		0	0	3	4	3	4	14

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
緩和型A型	0	0	0	0	0	0	0	17
	4	3	3	4	4	4	22	36

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## 居宅介護支援事業所パレア若狭

### 主任ケアマネジャーの配置

- ・ 主任ケアマネジャー更新研修受講の為の法定研修におけるファシリテーターとしての参加及び研修への参加ができました。更新研修の要件を満たした為、来年度受講を行います。
- ・ 法定研修における実習受け入れについては、6月、7月に1名の実習受け入れを行い県へも報告が完了し、人材育成に協力しました。
- ・ 週1回のケアマネミーティングでの事例検討や、隔月開催している他法人居宅介護支援事業所との研修会等でプランの検討を行い、相談できる場所を作る事でケアプランの作成への支援を行いました。
- ・ 福祉総合窓口としての周知については、パレア若狭本所のカウンターに「相談窓口」の提示を継続しています。

### ケアマネジャーの資質向上

- ・ 多職種連携の研修や専門員研修に参加が出来、各々のケアマネジャーに必要な研修に参加ができました。
- ・ 毎週1回、事例検討、報告、事業内容確認等の定期会議を開催しました。

### 地域福祉事業、小規模多機能ホーム、障がい者相談支援センターとの連携強化

- ・ 困難事例について、他法人との事例検討会の中で相談支援センター職員との事例検討を行う事が出来、情報共有や必要な社会資源についての相談を行いました。
- ・ 利用者の状況に合わせ、小規模多機能ホームの紹介や地域の社会資源の活用や紹介を行いました。

### 利用実績

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
居宅介護支援	1,588	136	137	131	135	130	128	797
		123	124	127	125	134	134	767

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
居宅介護支援	134	131	130	125	119	126	765	1,562
	129	133	133	131	137	147	810	1,577

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## 相談支援センターわかさ

### 福祉、医療、行政等関係機関との連携強化

- ・ 退院時の病院とのカンファレンス、必要時の担当者会議を開催し、病院や関係機関との連携を図っています。
- ・ 定期的に自立支援協議会へ参加し、事例検討を通して知識の向上を図っています。

### 総合相談窓口としての機能充実

- ・ 週1回のケアマネジャーとの事例検討会等に参加しており、又地域福祉事業とも日常的に相談できる環境であり、都度情報共有や相談を行う事が出来ています。
- ・ 福祉保健関係者勉強会への参加、地区懇談会内での研修へも参加し、地域の現状や資源を知る事で利用者への支援へ繋げる様努めています。

### 利用実績

< 特定相談支援事業 > 計画 25 件、モニタリング 138 件

(単位:延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
特定相談支援	117	15	7	10	7	7	14	60
		15	7	14	14	14	19	83

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
特定相談支援	9	6	8	11	14	16	64	124
	17	12	12	11	14	14	80	163

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 障害児相談支援事業 > 計画 20 件、モニタリング 70 件

(単位:延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
障害児相談支援	12	3	1	1	5	6	8	24
		9	9	8	9	9	10	54

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
障害児相談支援	1	0	2	1	2	1	7	31
	8	6	9	9	2	2	36	90

上段は昨年度実績、下段は今年度実績



## 生活支援ハウス

高齢者が安心して健康で明るい生活を送るための活動支援

- ・ 冬期の寒さや雪の心配をされる方が多く、居室数を超える入居希望があり、町の判定委員会にて入居者を決定しました。又、居室の空きのある間の短期入居に柔軟に対応しました。
- ・ 退居後、地域資源や各種サービスを利用し在宅生活が安全に再開できる様、ご家族や各関係機関とも連携し、在宅復帰への支援を行いました。又、施設入所の方についても面談や相談等の支援を行いました。
- ・ 季節に合わせたお菓子作りや、体を動かすゲームを行い、入居者同士の交流や心身機能の維持・向上を図りました。

各関係機関との連携強化による適切な運営

- ・ 福祉課や地域包括支援センターに、空き状況等の情報提供を行うことで、利用促進に努めました。
- ・ 各関係機関の居宅介護支援事業所に、入居に関することや、夏期の部屋の空き状況等をお知らせすることにより、利用促進に努めました。

今後の運営体制

- ・ 実績向上への対策として、各機関・民生児童委員等に利用促進の為の説明を行いました。
- ・ 新年度からの指定管理継続に伴い、入居判定委員会体制の変更と内部判定の内容を見直し、幅広くニーズに沿った利用をして頂けるものとなりました。
- ・ 今後も季節に関わりなく、居室の利用をして頂ける様、民生児童委員協議会、病院等への説明や福祉課・地域包括支援センターとも連携を取りながら災害等が予想される際の臨機応変な支援ハウスの利用促進を継続します。

利用実績（居室利用定員：12名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
生活支援ハウス	2,042	115	86	104	124	111	161	701
		210	156	77	99	288	292	1,122

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
生活支援ハウス	83	94	238	323	333	324	1,395	2,096
	247	231	298	365	299	227	1,667	2,789

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## ホームヘルプサービスいずみ

中重度対応、障がいヘルプ対応の強化

- ・ 五感で気づく力と視点の統一を図り、利用者の生活スタイルや価値観に応じて、自立を促すことを目的とした研修を実施しました。
- ・ 実際の訪問時の体験をもとに、在宅での緊急事態に直面した時の対応を学ぶための救急法研修を実施しました。
- ・ 在宅での看取りを希望する利用者に対するサービスを積極的に提供しました。

訪問介護に求められるニーズの把握と人材育成

- ・ 利用者とケアマネジャーに対し、現在のサービスの満足度とニーズの把握、意見等の聴取を行うためにアンケートを実施しました。
- ・ 利用に関する相談が47件あり、そのうち新規利用に繋がったケースは35件ありました。
- ・ ケア内容などの専門的なアドバイスや素早い情報提供を積極的に行い、共有することができました。

利用実績 (営業日：月曜日～日曜日 ただし、1月1日～3日までは除く)

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
訪問介護(介護)	7,926	661	662	581	632	634	649	3,819
		672	616	653	725	756	709	4,131
緩和型 A 型	464	30	38	41	37	46	28	220
		31	44	41	42	41	46	245
訪問介護 (障がい)	851	95	112	80	88	101	105	581
		25	35	50	67	66	46	289

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
訪問介護(介護)	735	687	695	626	599	645	3,987	7,806
	763	829	803	761	765	667	4,588	8,719
緩和型 A 型	42	29	28	21	20	23	163	383
	55	34	44	42	39	43	257	502
訪問介護 (障がい)	89	71	92	72	63	90	477	1,058
	76	51	55	38	45	67	332	621

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## 訪問看護ステーションわかさ

### 各関係機関、他の事業所との連携強化

- ・ 日々の訪問の中で小さな変化を見逃さず、課題が発生した時には頻回にケース検討を行い、より良いサービスの提供に努めました。
- ・ 入退院時の受け入れや状態の不安定な時期への関わりを手厚くし、緊急な訪問要請への迅速な対応や必要なサービスの導入への働きかけを行い、安心して在宅で安楽に過ごせるよう支援しました。
- ・ 利用者の状態に応じたサービスを導入する事により、悪化予防とQOLの改善に働きかけることが出来ました。
- ・ 介護技術の指導や実践を家族と共に行いながら、家族の介護力の向上及び緊急時の対応の強化を図りました。
- ・ 地域のサロンへ参加しリハビリについての助言や指導を行い、住民の機能維持及び向上に努めました。

### スタッフの質の向上

- ・ 研修への積極的な参加や人材育成に向けて内部研修を企画し、質の向上を図りました。
- ・ 看護学生の実習指導により、訪問看護の推進やスタッフの資質向上が図れました。

### 24時間対応の継続

- ・ 状態の変化から起こりうる急変を予測し、情報の共有や緊急対応の検討をしました。
- ・ 待機の継続期間の短縮や適宜交代する等、スタッフの精神的・身体的負担の軽減に努めました。
- ・ 在宅での看取りの支援や医療と介護の連携を深め、安心して在宅生活が継続できるよう支援しました。

### 健全経営を目的とした経営改善計画の実施

- ・ 訪問体制を柔軟に調整し新規や追加の訪問を受入れ、実績の向上に努めました。
- ・ 異常の早期発見と対応に努め、入院期間の短縮を図り利用再開により実績の確保に繋がりました。
- ・ 互いの職種を生かした関わりを行い必要なサービスの導入を促し、新規獲得に努めました。
- ・ 医療保険対象の利用者を積極的に受入し、実績の維持及び向上に努めました。

利用実績（営業日：月曜日～金曜日 ただし祝日、年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
訪問看護(予防)	684	27	26	36	41	47	39	216
		66	64	56	53	72	67	378
訪問看護(介護)	4,154	305	357	355	311	323	319	1,970
		353	354	337	381	410	321	2,156
訪問看護(医療)	1,590	165	161	180	137	150	152	945
		103	110	112	121	133	92	671

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
訪問看護(予防)	45	46	45	49	43	64	292	508
	66	62	52	59	51	46	336	714
訪問看護(介護)	341	323	297	288	294	343	1,886	3,856
	386	346	322	295	311	346	2,006	4,162
訪問看護(医療)	157	101	82	74	78	96	588	1,533
	120	112	102	88	125	115	662	1,333

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## 生きいきふれあい館

介護予防および地域交流、世代間交流の場等全世代の公共施設としての利用促進

- ・ より多くの住民の方に利用していただけるように、社協だよりで生きいきふれあい館のPR活動を実施しました。
- ・ ゲートボールやグランドゴルフの利用人口が減少している中、各団体に所属している健康志向の高いシニア世代の利用率は増えました。

### 利用実績

(単位：延利用団体数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
生きいき	835	49	59	61	65	52	53	339
ふれあい館		59	64	57	66	51	63	360

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
生きいき	68	74	79	84	86	84	475	814
ふれあい館	71	73	82	89	94	75	484	844

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## 葬祭事業

### サービスの向上

- ・ ご遺族の方に穏やかな追想のときを過ごしていただけるよう、心をこめて業務にあたっています。
- ・ 地域に根ざした施設運営として北前川老人会による施設周辺清掃（1月2月を除く毎月第3日曜日）を受入れています。

4月15日、5月20日、6月17日、7月15日、8月19日、9月16日、  
10月21日、11月18日、12月9日、3月17日

### 利用実績

(単位：件数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
葬祭事業		11	12	19	16	21	18	97
		9	15	15	12	15	16	82

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
葬祭事業	14	12	27	31	20	13	117	214
	16	11	16	23	18	26	110	192

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## コミュニティカフェきらやま茶屋（障害者就労継続支援B型）

障がい者の就労も町内の企業と連携できる事業所づくり

- ・ 利用者が内職の作業を分業し、得意分野を任せる事で生産効率が向上しました。
- ・ 町内だけでなく町外の企業や店舗からの内職が増え、種類を拡充する事ができました。

住民が主体となり、子どもから障がいのある方、高齢者までが分け隔たりなく集える施設運営

- ・ 嶺南東特別支援学校、嶺南西特別支援学校の社会見学を受入する事で、授業の一環として協力する事ができました。
- ・ 時間や周りを気にせずゆったりとカフェで寛げるような環境作りができました。

三方駅周辺の企業職員が気軽に利用でき、情報発信の場としても利用してもらえるような施設運営

- ・ 地元企業と提携する事で、企業のお客様や従業員が気軽に受けられるサービスをカフェで提供しています。
- ・ カフェ等に企業のチラシを置く事でイベント等の周知に繋がっています。

就労支援事業所として健全経営を行うための経営改善計画の実施

- ・ 利用日を「月・火・水・金・土」から「月・火・水・木・金」へ変更しました。
- ・ 利用者が予定通り通える環境作りを行い、利用実績を伸ばす事ができました。

利用実績（定員：20名 営業日：月曜日～金曜日、ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
就労継続支援	3,078	129	188	177	164	174	177	1,009
		210	237	209	230	255	194	1,335
カフェ・ 売店販売	11,146	952	1,116	915	1,216	1,276	1,164	6,639
		1,041	1,082	750	912	948	646	5,379
レンタサイクル	340	36	50	24	21	68	60	259
		28	28	6	10	30	23	125

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
就労継続支援	253	235	215	217	208	215	1,343	2,352
	237	227	229	208	238	230	1,369	2,704
カフェ・ 売店販売	913	869	966	786	915	945	5,394	12,033
	796	808	626	514	700	648	4,092	9,471
レンタサイクル	15	18	8	6	2	35	84	343
	28	23	6	7	8	29	101	226

上段は昨年度実績、下段は今年度実績



## 小規模多機能ホーム

利用者と地域の関係を深める事を目的とした事業所交流および連携による地域交流の活性化

- ・ 3つの事業所の合同行事として4月にイベントに参加し、10月にはバーベキュー大会を開催し、利用者にも大変喜んでいただきながら交流を図る事ができました。
- ・ 小規模多機能ホームならではの特色を活かし、小学校や保育所、地域住民との交流を深め、子供から高齢者まで気軽に立ち寄っていただき、気になることは相談いただける地域に根差した施設として機能しました。
- ・ 介護職員のたん吸引等の研修を2名受ける事ができました。最期をどこで迎えたいかについて、利用者、家族への意思確認も含めての調査を行いました。自宅で最期を望む利用者が多いことに対し、ご家族は病院で最期を希望する方が多く、温度差が大きいことが浮き彫りになりました。

### <小規模多機能型居宅介護ほたる熊川宿>

地域住民と連携した利用者と地域とのつながりが途切れない支援の強化

- ・ 独居の方を中心に地域行事の参加支援を実施しました。上半期では車椅子の方の敬老会への参加支援を実施し、本人はもちろん地域の方にも喜んでいただけました。下半期には、熊川地区の老人大会に参加し、地域の方々とも交流を図りました。
- ・ 運営推進委員やボランティアに事業所の行事等の案内をし、実際に関わって頂く事で、地域とのつながりができました。
- ・ 8月に流しそうめんの交流行事を開催し地域の小学生、保育園児、保護者、ボランティアと広い世代での交流を実施しました。ほたるで行う避難訓練の際には、地域の小学生にも参加して頂きました。

地域サロンや地域の組織の会合などに出向くことによる地域との関係強化

- ・ 1年を通して、毎月地域サロン2団体の活動に職員が交代で出向き、お話や運動・レクリエーション活動の支援を実施しました。
- ・ 熊川地区福祉関係者研修会および意見交換会に参加し地域の課題について検討しました。その他の会合等については参加する事はできませんでしたが、各ボランティアにほたるの行事に参加して頂くことで、地域との関係を築く事ができました。

利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：登録者数）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
小規模多機能型	182	12	13	13	12	11	11	72
居宅介護		14	12	12	12	14	14	78

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
小規模多機能型	13	12	14	14	13	14	80	152
居宅介護	12	12	11	12	12	12	71	149

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 小規模多機能型居宅介護みさき >

地域の中の福祉拠点としての地域交流活性化

- ・ 施設で行う干物作りの際に、地域住民にボランティアとして参加していただき、利用者と住民との交流に努めました。
- ・ 地域の行事に3回出向き、利用者・職員ともに普段関わりの少ない地域住民とも交流を図ることが出来ました。
- ・ 一度もみさきを訪れたことのない地域の高齢者にも声をかけ、お茶会を開きました。地域の方と利用者との交流はもちろん、普段なかなか会えない地域の方同士の交流に繋がりました。

地域住民と連携した見守り体制作り

- ・ 利用者全員のエコマップを作成し、利用者と家族、地域の方の手助けや役割などを図面化することで見守り体制の強化に繋がりました。

利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：登録者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
小規模多機能型	164	13	15	13	14	14	15	84
居宅介護		12	12	12	12	12	11	71

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
小規模多機能型	16	14	13	12	12	12	79	163
居宅介護	11	11	11	12	10	10	65	136

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 小規模多機能型居宅介護きやま虹の家 >

日々の活動を活かした機能訓練

- ・ 看護師による機能訓練や、レクリエーション活動として行う体操や脳トレを実施しました。また得意だったことを活かした調理、畑作業、縫い物等を通して、楽しみながら生活機能を向上させました。

地域住民および小学校との交流による施設の利用促進

- ・ 春休みや夏休みなどに地域や小学校、保育所との交流会を開催することが出来ました。また小学校の行事や地域の行事にも積極的に参加しました。
- ・ 本年度より虹カフェ（月×1回）をスタートしました。虹カフェに気軽に立ち寄っていただけるようにチラシ等で周知し、たくさんの地域住民の方々にご利用頂きました。また感謝祭などを通じて、虹の家の利用者と地域住民の方々が楽しく交流するなど、地域交流の場として大変好評をいただきました。

利用実績...小学生延べ 77 名、保育所・乳児延べ 20 名、地域住民延べ 172 名  
（上記以外にも日常的に交流を図りました。）

利用実績（定員：18 名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：登録者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
小規模多機能型	171	15	14	15	15	14	13	88
居宅介護		11	11	11	12	14	14	73

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
小規模多機能型	13	13	11	11	12	12	72	160
居宅介護	15	15	17	16	14	15	92	165

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## 介護予防拠点施設五湖の郷

### 地域交流の場としての機能強化

- ・ 五湖カフェについて、年間の営業回数は 22 回、延べ利用者数は 277 名でした。カフェ営業に合わせたイベントは 4 回実施することができました。
- ・ グループホーム運営推進会議の中で五湖の郷で盆踊りができないかという提案を受け、8 月 4 日（土）に第 1 回梅の里夏まつりを五湖の郷中庭で開催することができました。区長会、地域づくり協議会等の協力のもと、梅の里夏まつり実行委員会を立ち上げ、地区の祭りとしてステージイベントや盆踊り、模擬店などを実施し、約 800 名の方が参加されました。

### ボランティア活動の推進

- ・ 定期的に活動いただいているボランティアは運転ボランティア、カフェ運営ボランティア、レクリエーションボランティアとなっており、延べ 344 名の方が五湖の郷で活動されました。

### 福祉学習の推進

- ・ 梅の里保育園の年長組と月 1 回の交流を行いました。通所サービスを中心に交流していますが、特養入居者等も参加し交流することができ、障がい者、高齢者と地域の保育園児が身近にふれあう機会を持つことができました。

## 特別養護老人ホーム五湖の郷

入居者の意向を元にしたケアの充実

- ・ 24 時間シートを使い、入居者一人ひとりが望む暮らしの情報を把握・共有し、毎月のユニット会議や適宜開催した担当者会議にて必要なサポートについてケアの統一に取り組みました。
- ・ おやつや飲み物に関して、入居者と一緒に買い物に行く事や、様々な種類を用意して入居者に好きな物を選んでいただく事で、自己決定できる機会を設け、入居者の主体性の向上に努めました。
- ・ ユニットで目標やテーマを決め 3 月に事例発表の場を設ける事で職員のスキルアップに繋げるとともに、ユニットリーダー研修や認知症実践者研修、各職種の処遇研究委員会への研修に参加しました。

利用実績（定員：29 名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
特別養護	10,373	846	837	810	831	845	818	4,987
老人ホーム		854	899	866	893	849	820	5,181

（下半期）	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
特別養護	828	805	873	888	812	882	5,088	10,075
老人ホーム	823	832	835	854	783	883	5,010	10,191

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## 高齢者ショートステイ五湖の郷

利用者の意向を元にした在宅での暮らしの継続

- ・洗濯たたみや食器洗い、家庭菜園など、今までされていた事で出来る事をショート利用期間中にも行っていただく事で在宅での暮らしの継続に取り組みました。
- ・ユニットで目標やテーマを決め3月に事例発表の場を設ける事で職員のスキルアップに繋げるとともに、毎月のユニット会議や担当者会議での情報を元に、利用者、家族、職員の思いを共有しチームケアの意識向上とケアの統一に取り組みました。

利用実績（定員：10名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
高齢者ショート ステイ(予防)	60	11 0	11 0	9 0	0 0	3 0	3 0	37 0
高齢者ショート ステイ(介護)	3,043	227 207	215 235	195 251	238 272	227 283	215 263	1,317 1,511

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
高齢者ショート ステイ(予防)	6 2	0 3	6 3	8 2	0 1	0 3	20 14	57 14
高齢者ショート ステイ(介護)	215 260	199 256	225 273	245 252	239 213	243 238	1,366 1,492	2,683 3,003

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## 認知症対応型グループホーム五湖の郷

### 地域住民と共に行う施設活動

- ・ グループホーム運営推進会議を定期開催しています。地域の方に運営推進委員として関わってもらい、地域住民の生きがいや入居者の楽しみに繋がるような活動計画を進めています。
- ・ 地域と五湖の郷が協力して開催できた「梅の里夏祭り」には、入居者家族にも参加してもらい、地域とのつながりを感じてもらいながら一緒に楽しむことができました。また、地域の方と交流会や作品作りが行えました。
- ・ 入居してからも、住んでいた地域行事に参加できるよう家族への声かけや、情報の収集を行っています。馴染みの神社への参拝、昔の職場を見に出かけることができました。

### 地域のニーズに応じるための職員の専門性強化

- ・ 毎月実施しているケース会議の中で、情報と目的の共有ができています。入居者の状態の変化に対応していくことで認知症への理解を深めることができます。
- ・ 専門職（医療、リハビリ、各業者等）と連携を取る為に状況に合わせて、文書や電話での情報提供や受診時の同行を行っています。
- ・ 職員のスキルアップに繋げる為、長期研修も含め外部研修へ3回参加することができました。

利用実績（定員：9名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
グループホーム	3,252	270	277	270	279	275	269	1,640
		269	274	253	279	259	240	1,574

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
グループホーム	279	264	274	269	224	272	1,582	3,222
	264	270	277	270	252	279	1,612	3,186

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## 障がい者日中活動支援施設

### 障がいの程度やニーズに応じた支援の強化

- ・ 個々の障がいの程度や利用者の要望に応じて、一度に複数の活動支援を行う事が出来ました。（創作活動、運動活動、生産活動、機能訓練活動、入浴支援など）職員一人ひとりが、経験を積みスキルアップした為と考えられます。

### 地域住民に対する障がい者理解の促進

- ・ 地域住民と接する為に野外行事活動を年 55 回実施しました。  
その他に、教員の受入れを 1 名、実習生の受け入れを 2 名、レクリエーション活動ボランティアの受け入れを 16 回行いました。
- ・ 西田地区 391 世帯に対し、五湖の郷障がいデイサービスで行っている生産活動についてチラシで PR し、空き缶回収の協力をお願いしています。その結果、空き缶回収量が昨年度より 17,333 個相当増えました。

### < 障がい者デイサービス事業（生活介護） >

#### 個々のニーズに応じたサービスの提供と支援の強化

- ・ 数々の活動を行う中で、その都度利用者には目標を立ててもらい、職員はその目標に近づけられるよう日々サポートしました。なかでも空き缶回収量が増えたことで作業回数も昨年度より 220 回ほど増え、作業意欲のある利用者の要望に応えられるようになりました。

利用実績（定員 20 名、営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
生活介護	3,360	283	312	277	258	266	279	1,675
		270	293	269	287	289	268	1,676

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
生活介護	252	267	273	250	246	303	1,591	3,266
	283	287	273	254	261	277	1,635	3,311

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

### < 日中一時支援事業 >

十分な職員体制を整え希望通りに利用できる事業運営



- ・ 放課後デイの利用者が増えているので平日の夕方は職員体制を増やし、また、土曜日や長期休暇スクールの開所時には、日中の職員体制を増やして対応しました。

利用実績（定員 1～4名、営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
日中一時支援	640	47	42	40	48	39	42	258
		61	74	56	72	88	63	414

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
日中一時支援	36	42	47	48	55	56	284	542
	65	57	62	46	44	53	327	741

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## 障がい者ケアホーム五湖の郷

余暇を中心とした支援による生活の質の向上

- ・ 移動支援事業の提供により、外出などの個別ニーズに対応することができました。また、障がいデイサービスとの連携により、個別活動の充実も図れています。
- ・ 毎月1回会議を行い、会議後に内部研修を実施することによって各職員のスキルアップにつなげています。知識や技術を増やすだけでなく、事業の在り方や計画の重要性、困難事例の対応方法など、職員全員で考える事ができました。

### < ケアホーム事業 >

全利用者へ対する外出を中心とした個別支援の提供

- ・ 移動支援事業を契約している利用者には県外への外出などを提供し、その他の利用者についても事業所内での個別支援が提供できています。

利用者への相談等の対応や余暇支援の充実

- ・ 夜間に職員と気軽に話ができるような時間を設定し、相談などの対応を行い必要があれば、他事業所と連携して問題解決に努めました。
- ・ その都度、各利用者の趣味や夢中になれる物など個別での余暇支援を提供しました。他にも定期的に利用者全員でのイベントを行っています。

利用実績（定員：7名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
ケアホーム	2,468	176	195	192	194	189	176	1,122
		192	204	180	217	217	179	1,189

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
ケアホーム	178	197	207	198	162	212	1,154	2,276
	183	203	206	204	190	209	1,195	2,384

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

### < 障がいショート事業 >

利用者が安全・安心・快適にサービスを利用でき、家族も安心して依頼ができるようなサービス提供

- ・ 相談支援事業や障がいデイサービスと連携し、利用者が安心して利用できるような職員体制でサービスを提供し、情報の共有にも力を入れました。
- ・ 利用者間の人間関係に配慮するなど、設備などの整備の他に雰囲気づくりにも力を入れ、利用者が過ごしやすい環境になるように努めました。

利用実績（定員：2名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
障がいショート	404	36	34	28	31	25	30	184
		33	42	29	47	33	43	227

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
障がいショート	25	43	43	48	34	31	224	408
	69	78	63	47	58	63	378	605

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

#### < 移動支援事業 >

より多くの方に利用していただけるようなサービス提供

- ・ 契約者は少しずつ増えていますが、冬季になると利用が減ってしまう事が多くありました。
- ・ 体力増進のための散歩や、他府県への外出、家族の負担軽減など、利用者それぞれのニーズに対応する事ができました。

利用実績（営業日：月曜日～金曜日）

（単位：延利用時間）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
移動支援	430	20	14.5	10	16.5	11	15	87
		23.5	12.5	19.5	8	12	17	92.5

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
移動支援	11	20	17.5	18	13	11	90.5	177.5
	4	4	4	4.5	4.5	4.5	25.5	118

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## 五湖の郷食事サービス

### 安心安全な食の提供

- ・今年度は夏の暑さが厳しく、厨房内の温度管理や調理後および盛り付け後の食品温度管理について気を配る等、衛生管理を徹底しました。また、ウイルスの繁殖や、感染症の多発する寒い時期も、しっかりとした予防対策ができました。
- ・菌を持ち込まない、増やさないために、職員は家庭でも意識して衛生管理を行っています。
- ・持ち帰りの弁当の取り扱いについて、保健所の指導に基づいた管理を行っています。
- ・職員は毎月検便を行っています。ノロウイルス食中毒の発生しやすい時期である秋から冬（10月～2月）にかけては、昨年よりも回数を増やしてノロウイルス食中毒の検便検査を実施しました。

### それぞれの利用者に合った食事内容の検討や既存の施設および設備を活用した新しい食事提供内容の検討

- ・デイサービスを対象に、毎月第2土曜日にバイキング形式の昼食を提供しています。また、障がいデイサービスについては、利用者家族の要望で隔月第3火曜日にもバイキングを実施しています。
- ・グループホームにおいて、要望に沿った食事提供方法に取り組んでいます。
- ・特養、高齢ショートにおいて、日々状態の変わる利用者の食事形態に柔軟に対応することができました。また、嗜好などの変化による食事内容の対応についても要望に応じて取り組むことができました。